

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成24年1月19日 (2012.1.19)

【公表番号】特表2011-505467(P2011-505467A)

【公表日】平成23年2月24日 (2011.2.24)

【年通号数】公開・登録公報2011-008

【出願番号】特願2010-536126(P2010-536126)

【国際特許分類】

C 0 8 G 64/02 (2006.01)

C 0 8 G 64/30 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 G 64/02

C 0 8 G 64/30

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月21日 (2011.11.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 5 4 】

実施例 2 2 C ~ E

D o w e x (登録商標) 5 0 × 8 - 2 0 0 イオン交換樹脂触媒サイクル：ナンバー 3 ~ 5  
 ナンバー 2 (実施例 2 2 B) の上記の手順の後、サイクルを連続数続け、プロトン N M  
 R により材料を分析した。以下の表にその結果の一覧を示す。

【表 8】

実施例	サイクル	時間 (Hr)	変換率 (%)	時間 (Hr)	変換率 (%)	n (最終)
22A	1			17	87.54	2.64
22B	2			約70	98.43	7.60
22C	3	6.0	30.72	22	74.62	2.88
22D	4	6.0	11.27	22	46.54	1.22
22E	5	6.0	8.72	22	38.25	2.12

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 0 5 5 】

以上、本発明を要約すると下記のとおりである。

- 1．非置換またはR置換ポリ(トリメチレンカーボネート)グリコールを製造する方法であって、1つ以上の溶剤の存在下、非置換またはR置換トリメチレンカーボネートを、触媒としての酸性イオン交換樹脂と、溶剤の凝固点から摂氏約30度までの範囲内の温度で接触させて、非置換またはR置換ポリ(トリメチレンカーボネート)ジオールを含む反応混合物を形成させることを含む、上記方法。
- 2．トリメチレンカーボネートが、非置換トリメチレンカーボネートである上記1に記載の方法。
- 3．イオン交換樹脂が、ジビニルベンゼンで架橋されたポリ(スチレンスルホン酸)を含むイオン交換樹脂からなる群から選択される上記1に記載の方法。
- 4．イオン交換樹脂が、(テトラフルオロエチレン/パーフルオロ(4-メチル-3,6-ジオキサ-7-オクテン-1-スルホン酸)コポリマーである上記1に記載の方法。
- 5．溶剤が、非置換またはR置換トリメチレンカーボネートおよびイオン交換樹脂と実質的に非反応性である上記1に記載の方法。
- 6．実質的に非反応性の溶剤が、塩化メチレン、トルエンおよびジオキサンからなる群から選択される上記5に記載の方法。
- 7．非置換またはR置換ポリ(トリメチレンカーボネート)グリコールを単離することをさらに含む上記1に記載の方法。
- 8．上記1に記載の方法により製造される非置換またはR置換ポリ(トリメチレンカーボネート)グリコール。

## 【 手 続 補 正 3 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 特 許 請 求 の 範 囲

【 補 正 対 象 項 目 名 】 全 文

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 特 許 請 求 の 範 囲 】

【 請 求 項 1 】

非置換またはR置換ポリ(トリメチレンカーボネート)グリコールを製造する方法であって、1つ以上の溶剤の存在下、非置換またはR置換トリメチレンカーボネートを、触媒としての酸性イオン交換樹脂と、溶剤の凝固点から摂氏約30度までの範囲内の温度で接触させて、非置換またはR置換ポリ(トリメチレンカーボネート)ジオールを含む反応混合物を形成させることを含む、上記方法。

【 請 求 項 2 】

請求項1に記載の方法により製造される非置換またはR置換ポリ(トリメチレンカーボネート)グリコール。